

鍼灸施術は三日以上を要す

三脚氣 あしのけ

(鍼治點)中瀆	三里	陽陵泉	陰陵泉	三陰交	懸鐘
(灸治點)中瀆	三里	陽陵泉	陰陵泉	三陰交	懸鐘

療法

(鍼)中瀆八分陰陵泉八分陽陵泉八分に隨鍼術を行ひ鍼を留むる二呼、三里八分三陰交三分懸鐘三分に雀啄術を行ひ鍼を留むる三呼とす

(灸)中瀆七壯三里七壯陽陵泉七壯陰陵泉七壯三陰交五壯懸鐘五壯艾炷は鼠糞大のものを用ふ
 鍼灸施術は二週日以上を要す

四痿軟 あしなへ

截癱 兩脚の麻痺症

(鍼治點)腎俞	上髎	環跳	白環俞	中瀆	三里	懸鐘	水
(灸治點)腎俞	上髎	環跳	白環俞	中瀆	三里	懸鐘	水

療法

(鍼)腎俞一寸上髎五分環跳一寸白環俞五分中瀆八分に雀啄術を行ひ鍼を留むる二呼、三里八分懸鐘三分水泉三分に隨鍼術を行ひ鍼を留むる三呼とす

(灸)腎俞七壯上髎五壯環跳七壯白環俞五壯中瀆七壯三里七壯懸鐘五壯水泉五壯艾炷は鼠糞大のものを用ふ
 鍼灸施術は三週日以上を要す

第九 全身の病

一 偏枯 かたみしびれ 半身麻痺

〔鍼治點〕百會 風池 大椎 肩髃 曲池 三里 陽池 環跳
 中瀆 陽陵泉 三陰交 曲池 三里 陽池 環跳
 〔灸治點〕百會 風池 大椎 肩髃 曲池 三里 陽池 環跳
 中瀆 陽陵泉 三陰交

療法

〔鍼〕百會三分風池七分大椎五分に雀啄術を行ひ鍼を留むる二呼肩髃七分曲池七分環跳一寸中瀆八分に隨鍼術を行ひ鍼を留むる二呼三里七分陽池三分陽陵泉八分三陰交三分に氣拍術を行ひ鍼を留むる三呼とす

〔灸〕百會五壯風池七壯大椎五壯肩髃七壯曲池七壯三里七壯陽池五壯環跳七壯中

瀆七壯陽陵泉七壯三陰交五壯艾炷は鼠糞大のものをを用ふ
 鍼灸施術は三週日以上を要す

二 天行中風 はやりかぜ 流行性感冒

〔鍼治點〕百會 瘧門 風池 大杼 肺俞 三里 三里
 〔灸治點〕禁灸

療法

〔鍼〕百會三分瘧門三分風池七分大杼五分肺俞五分に雀啄術を行ひ鍼を留むる二呼三里七分三里八分に隨鍼術を行ひ鍼を留むる三呼とす
 鍼術施行は一週日以上を要す

三 瘧疾 をこり 間歇熱

〔鍼治點〕大椎 肝俞 胃俞 脇膠 三里
〔灸治點〕肝俞 胃俞 脇膠 三里

療法

〔鍼〕大椎三分 肝俞五分 胃俞一寸に雀啄術を行ひ鍼を留むる二呼。脇膠一寸 中腕一寸 上腕一寸に内調術を行ひ鍼を留むる三呼。三里七分に圓旋術を行ひ鍼を留むる三呼とす

〔灸〕肝俞五壯 胃俞七壯 脇膠七壯 三里七壯。艾炷は鼠糞大のものを用ふ。鍼灸施術は五日以上を要す

四播擲

ひきつけ 急癩(子癩)

〔鍼治點〕百會 水溝 中腕 脇膠 肝俞 膈俞 胃俞
〔灸治點〕肝俞 膈俞 胃俞

療法

〔鍼〕百會三分 水溝三分 肝俞五分 膈俞五分 胃俞一寸に雀啄術を行ひ鍼を留むる三呼。中腕一寸 脇膠一寸に圓旋術を行ひ鍼を留むる三呼とす

〔灸〕肝俞五壯 膈俞五壯 胃俞七壯。艾炷は鼠糞大のものを用ふ。鍼灸施術は二日以上を要す。但し小兒にありては鍼の深さ及び灸の壯数を減量す

五癩癩

てんかん

〔鍼治點〕百會 水溝 鳩尾 上腕 肝俞 心俞 身柱 水泉
〔灸治點〕百會 身柱 心俞 肝俞 水泉

療法

〔鍼〕百會三分 水溝三分 肝俞五分 心俞五分 身柱五分に雀啄術を行ひ鍼を留むる三呼。鳩尾一寸 上腕一寸 水泉三分に散鍼術を行ひ鍼を留むる

二呼とす

(灸)百會五壯身柱五壯心俞五壯肝俞五壯水泉五壯艾炷は鼠糞大のものを

鍼灸施術は三週日以上を要す

六風溼痛風

慢性關節僂質斯

(鍼治點)肩髃

肩貞 消灤 清冷淵 天井 曲池 三里 陽

池 合谷

支溝 環跳 承扶 白環俞 中瀆 陽

泉 陰陵泉

三里 三陰交 懸鐘 水泉

(灸治點)肩髃

肩貞 消灤 清冷淵 天井 曲池 三里 陽

池 合谷

支溝 環跳 承扶 白環俞 中瀆 陽

泉 陰陵泉

三里 三陰交 懸鐘 水泉

療法

(鍼)肩胛關節部には肩髃七分肩貞七分消灤五分に雀啄術を行ひ鍼を

留むる二呼とす

肘關節部には清冷淵五分天井五分曲池七分三里七分に雀啄術を行

ひ鍼を留むる二呼とす

腕關節部には陽池三分合谷三分支溝七分に雀啄術を行ひ鍼を留

むる二呼とす

股關節部には環跳一寸承扶八分白環俞五分に雀啄術を行ひ鍼を

留むる二呼とす

膝關節部には中瀆八分陽陵泉八分陰陵泉八分三里七分に雀啄術を

行ひ鍼を留むる二呼とす

足關節部には三陰交三分懸鐘三分水泉三分に雀啄術を行ひ鍼を

留むる二呼とす

(灸)肩胛關節部には肩髃七壯肩貞七壯消灤五壯

肘關節部には清冷淵五壯天井五壯曲池七壯三里七壯
 腕關節部には陽池五壯支溝七壯合谷五壯
 股關節部には環跳七壯承扶七壯白環俞五壯
 膝關節部には中瀆八壯陽陵泉八壯陰陵泉八壯三里八壯
 足關節部には三陰交五壯懸鐘五壯水泉五壯
 艾炷は總て鼠糞大のものを留ふ

七氣短

さみじか 神經衰弱

八振顫癇

かんの病 舞蹈病

〔鍼治點〕天椎 肺俞 肝俞 胃俞 卒谷 竅陰 天柱 三里
 三里

〔灸治點〕天柱 肺俞 肝俞 胃俞 三里 三里

療法

〔鍼〕天柱五分大椎三分肺俞五分肝俞五分胃俞一寸に雀啄術を行ひ鍼を留むる二呼。卒谷三分竅陰三分に細指術を行ひ鍼を留むる二呼。三里七分三里八分に隨鍼術を行ひ鍼を留むる三呼とす
 〔灸〕天柱五壯肺俞五壯肝俞五壯胃俞七壯三里七壯三里七壯艾炷は鼠糞大のものを留ふ

鍼灸施術は兩症共に三週日以上を要す

九心風

さみじき 依卜埤埤里

〔鍼治點〕天柱 肺俞 心俞 膈俞 肝俞 上腕 關元 天樞
 三里 三里

療法

〔鍼〕天柱五分肺俞五分心俞五分膈俞五分肝俞五分に雀啄術を行ひ鍼を留

むる二呼。上腕一寸關元一寸天樞一寸に氣拍術を行ひ鍼を留むる

二呼。三里七分三里八分に圓旋術を行ひ鍼を留むる三呼とす

(灸)天柱五壯肺俞五壯膈俞五壯肝俞五壯三里七壯三里七壯艾炷は鼠糞大のものを用ふ

鍼灸施術は三週日以上を要す

十肉痺筋痺

すじにくのいたむ病 筋肉痠麻質斯

(鍼治點)天柱 風池 翳風 肩外 曲垣 大杼 肺俞 中府

氣戸 庫房 膺窓 靈墟 步廓 肩貞 消滌 肩髃

腎俞 大腸俞 上膠 靈墟 步廓 肩貞 消滌 肩髃

(灸治點)天柱 風池 翳風 肩外 曲垣 大杼 肺俞 中府

氣戸 庫房 膺窓 靈墟 步廓 肩貞 消滌 肩髃

腎俞 大腸俞 上膠 靈墟 步廓 肩貞 消滌 肩髃

療法

(鍼)頸筋及び僧帽筋の部には天柱五分風池七分翳風五分肩外五分曲垣

五分大杼五分肺俞五分に雀啄術を行ひ鍼を留むる二呼とす

胸筋部には中府三分氣戸三分庫房三分膺窓三分靈墟三分步廓三分に雀

啄術を行ひ鍼を留むる二呼とす

三角筋部には曲垣五分肩貞七分消滌五分肩髃七分に雀啄術を行ひ

鍼を留むる二呼とす

腰筋部には腎俞一寸大腸俞一寸上膠五分に雀啄術を行ひ鍼を留

むる二呼とす

(灸)頸筋及び僧帽筋部には天柱五壯風池七壯翳風五壯肩外五壯曲垣五壯

大杼五壯肺俞五壯

胸筋部には中府五壯氣戸五壯庫房五壯膺窓五壯靈墟五壯步廓五壯

三角筋部には曲垣五壯肩外五壯消滌五壯肩髃七壯

腰筋部には腎俞七壯大腸俞七壯上髎五壯
艾炷は總て鼠糞大のものを用ふ
鍼灸施術は三週日以上を要す

十一 不寐

ねむれぬ病 不眠症

〔鍼治點〕身柱 膈俞 胃俞 腎俞
〔灸治點〕身柱 膈俞 胃俞 腎俞

療法

〔鍼〕身柱三分に隨鍼術を行ひ鍼を留むる二呼。膈俞五分胃俞一寸腎俞一寸に雀啄術を行ひ鍼を留むる三呼とす
〔灸〕身柱五壯膈俞五壯胃俞七壯腎俞七壯。艾炷は鼠糞大のものを用ふ。
鍼灸施術は三日以上を要す

十二 昏冒

氣絶又きをうしなす 卒倒又昏冒

〔鍼治點〕百會 水溝 中脘 脇膠 水泉 懸鐘
〔灸治點〕脇膠 水泉 懸鐘

療法

〔鍼〕百會三分水溝三分中脘一寸に雀啄術を行ひ鍼を留むる五呼。脇膠一寸水泉三分懸鐘三分に圓旋術を行ひ鍼を留むる三呼とす
〔灸〕脇膠七壯水泉五壯懸鐘五壯。艾炷は鼠糞大のものを用ふ
鍼灸施術は一日一回宛行ひて醒覺するを度とす

第十一 婦人の病

一月 經不順

つきのものふめぐり 月經變調

二月 水不通

めぐりとまり 月經閉止

(鍼治點)腎俞 中脘 關元 水道 四滿 曲池 三陰交
 (灸治點)腎俞 中脘 關元 曲池 三陰交

療法

(鍼)腎俞一寸中脘五分に雀啄術を行ひ鍼を留むる二呼。關元一寸水道一寸四滿一寸に屋漏術を行ひ鍼を留むる三呼。曲池七分三陰交三分に隨鍼術を行ひ鍼を留むる二呼とす

(灸)腎俞七壯中脘五壯關元七壯曲池七壯三陰交五壯。艾炷は鼠糞大のものを用ふ

鍼灸施術は兩症共に三週日以上を要す

三月水過多 めぐりことにつよきもの 月經過多

(鍼治點)腎俞 大腸俞 上脘 陰陵泉 三里 三陰交
 (灸治點)腎俞 大腸俞 上脘 陰陵泉 三里 三陰交

療法

(鍼)腎俞一寸大腸俞一寸上脘五分に隨鍼術を行ひ鍼を留むる二呼。陰陵泉八分三里八分三陰交三分に雀啄術を行ひ鍼を留むる三呼とす

(灸)腎俞七壯大腸俞七壯上脘五壯陰陵泉七壯三里七壯三陰交五壯。艾炷は鼠糞大のものを用ふ

鍼灸施術は三週日以上を要す

四月經痛 つぎむし又いんばらむし 月經困難

(鍼治點)大腸俞 次脘 白環俞 大赫 關元 四滿 衝門
 (灸治點)大腸俞 次脘 白環俞 三陰交

療法

鍼灸術治療編 月水過多 月經痛

(鍼)大腸俞一寸次膠五分白環俞五分に雀啄術を行ひ鍼を留むる二呼、大赫一寸關元一寸四滿一寸衝門一寸に圓旋術を行ひ鍼を留むる三呼。三陰交に隨鍼術を行ひ鍼を留むる二呼とす

(灸)大腸俞七壯次膠五壯白環俞五壯三陰交五壯。艾炷は鼠糞大のものを
用ふ

鍼灸施術は三日以上を要す

五産後血暈

さんごのちのぼり

(鍼)治點百會 膈俞 中瀆 三里 三陰交
(灸)治點膈俞 三里 三陰交

療法

(鍼)百會三分膈俞五分に雀啄術を行ひ鍼を留むる二呼。中瀆八分三里八分三陰交三分に隨鍼術を行ひ鍼を留むる二呼とす

(灸)膈俞五壯三里七壯三陰交五壯。艾炷は鼠糞大のものを
鍼灸施術は一週日以上を要す

六婦人淋疾

しやうかち 婦人尿道加答兒

(鍼)治點水道 關元 下膠 白環俞
(灸)治點下膠 白環俞

療法

(鍼)水道一寸關元一寸に散鍼術を行ひ鍼を留むる三呼。下膠五分白環俞五分に雀啄術を行ひ鍼を留むる二呼とす

(灸)下膠五壯白環俞五壯。艾炷は鼠糞大のものを
鍼灸施術は三週日以上を要す

七子宮病

こぶくろのたじ病

八白帶下

しらち又こしけ 子宮粘膜炎

九赤帶下

ながち 陰腔粘膜炎

〔鍼治點〕腎俞

大腸俞

中脘

命門

關元

大赫

陰廉

五

樞

三里

三陰交

〔灸治點〕腎俞

大腸俞

中脘

命門

關元

三里

三陰交

療法

〔鍼〕腎俞一寸大腸俞一寸中脘五分命門三分に雀啄術を行ひ鍼を留むる

二呼大赫一寸陰廉一寸五樞一寸に圓旋術を行ひ鍼を留むる三呼

三里八分三陰交三分に隨鍼術を行ひ鍼を留むる二呼とす

〔灸〕腎俞七壯大腸俞七壯中脘五壯命門五壯關元七壯三里七壯三陰交五壯艾炷

は鼠糞大のものをを用ふ

鍼灸施術は三症共に三週日以上を要す

十惡疽

つわり

〔鍼治點〕膈俞

胃俞

上脘

中脘

〔灸治點〕膈俞

胃俞

療法

〔鍼〕膈俞五分胃俞一寸に雀啄術を行ひ鍼を留むる二呼上脘一寸中脘

一寸に屋漏術を行ひ鍼を留むる三呼とす

〔灸〕膈俞七壯胃俞七壯艾炷は鼠糞大のものをを用ふ

鍼灸施術は二週日以上を要す

十一藏躁病

しきうしやく 子宮痙攣

〔鍼治點〕天樞

四滿

五樞

大橫

白環俞

腎俞

大腸俞

次髎

陰陵泉

三陰交

〔灸治點〕天樞 白環俞 腎俞 大腸俞 三陰交

療法

〔鍼〕天樞一寸四滿一寸五樞一寸大樞一寸に隨鍼術を行ひ鍼を留むる二呼腎俞一寸大腸俞一寸白環俞五分次膠五分に雀啄術を行ひ鍼を留むる二呼陰陵泉八分三陰交三分に圓旋術を行ひ鍼を留むる三呼とす

〔灸〕天樞七壯腎俞七壯大腸俞七壯白環俞五壯三陰交五壯艾炷は鼠糞大のものを用ふ
鍼灸施術は三日以上を要す

十二心風 くらつ 比私的里

〔鍼治點〕心俞 膈俞 肝俞 中脘 腹哀 外陵 百會 風池
〔灸治點〕風池 心俞 膈俞 肝俞

療法

〔鍼〕百會三分風池三分に細指術を行ひ鍼を留むる二呼心俞三分膈俞三分肝俞三分に雀啄術を行ひ鍼を留むる二呼中脘五分腹哀五分外陵五分に隨鍼術を行ひ鍼を留むる二呼とす
〔灸〕風池三壯心俞三壯膈俞三壯肝俞三壯艾炷は鼠糞大のものを用ふ
鍼灸施行は三週日以上を要す但し鍼灸共に施術刺戟の度は可及的輕軟なるを可とす

十三乳痛 ちぶさのいたむ病 乳房神經痛

〔鍼治點〕肺俞 心俞 膈俞 肝俞 或中 靈墟 步廊 氣戶
屋翳 乳根

療法

鍼灸術治療編 心風 乳痛

(鍼)肺俞五分心俞五分膈俞五分肝俞五分に隨鍼術を行ひ鍼を留むる二呼或中三分靈墟三分步廊三分氣戸三分屋翳三分乳根三分に雀啄術を行ひ鍼を留むる二呼とす

(灸)肺俞五壯膈俞五壯肝俞五壯靈墟三壯屋翳三壯乳根三壯艾炷は鼠糞大のものを用ふ
鍼灸施術は一週日以上を要す

第十一 小兒の病

一 驚風 子どものひきつける病 小兒搐搦

(鍼治點)百會 水溝 肝俞 中脘 脇髎

(灸治點)肝俞

療法

(鍼)百會二分水溝二分肝俞三分に雀啄術を行ひ鍼を留むる三呼中脘

五分脇髎五分に龍頭術を行ひ鍼を留むる二呼とす

(灸)肝俞三壯艾炷は小麥粒大のものを用ふ

鍼灸施術は二日以上を要す

二 吐乳 ちんをもどす 小兒慢性嘔吐

(鍼治點)胃俞 上脘 中脘

(灸治點)胃俞

療法

(鍼)胃俞五分上脘五分中脘五分に雀啄術を行ひ鍼を留むる二呼とす

(灸)胃俞三壯艾炷は小麥粒大のものを用ふ

鍼灸施術は一週日以上を要す

三 小兒瀉泄 くだりばら 腸加答兒

〔鍼治點〕胃俞 天樞
〔灸治點〕胃俞 天樞

療法

〔鍼〕胃俞五分 天樞五分に隨鍼術を行ひ鍼を留むる二呼とす
〔灸〕胃俞三壯 天樞三壯 艾炷は小麥粒大のものを用ふ
鍼灸施術は一週日以上を要す

四 小兒夜泣

よなき

〔鍼治點〕百會 身柱 脇髎
〔灸治點〕身柱

療法

〔鍼〕百會二分 身柱二分に雀啄術を行ひ鍼を留むる二呼。脇髎五分に隨鍼術を行ひ鍼を留むる二呼とす

〔灸〕身柱三壯 艾炷は小麥粒大のものを用ふ
鍼灸施術は五日以上を要す

五 疳の病

〔鍼治點〕肝俞 膈俞 上脘 中脘 脇髎
〔灸治點〕肝俞 膈俞

療法

〔鍼〕肝俞三分 膈俞三分に隨鍼術を行ひ鍼を留むる二呼。上脘五分 中脘五分 脇髎五分に雀啄術を行ひ鍼を留むる二呼とす
〔灸〕肝俞三壯 膈俞三壯 脇髎三壯 艾炷は小麥粒大のものを用ふ
鍼灸施術は一週日以上を要す

鍼灸術治療編 終

適用 鍼灸萃要 大尾

新定孔穴人體前面圖解

胸頸部	顏面部	耳前部	顳顬部	額部	頭部第二側線	頭部第一側線	頭部正中線	1 神庭
37 兪府	35 天鼎	34 水溝	29 地倉	26 迎香	23 上關	18 頭維	16 攢竹	11 臨泣
								7 曲差
								1 神庭
								2 額會
								8 承光
								12 正營
								17 陽白
								19 曲鬢
								24 聽會
								27 四白
								30 下關
								32 巨膠
								28 大迎
								20 紫竹空
								39 神藏

新定孔穴人體前面圖解

上肢部
下肢部

115	110	105	101	75
三里	陰廉	肩髃	俠白	衝門
116	111	102	76	
陰陵泉	環跳	尺澤	脇髎	
120	114	103	77	
水泉	陽陵泉	曲池	五樞	

腹部正中線
腹部第一側線
腹部第二側線
側腹部

72	70	67	64	62	59	56	55	52	49	46	43	40
腹哀	外陵	關門	不容	四滿	石關	幽門	關元	中脘	鳩尾	膺窗	氣戶	靈墟
73	71	68	65	63	60	57		53	50	47	44	41
大橫	水道	大乙	承滿	大赫	商曲	通谷		建里	巨闕	乳根	庫房	神封
74		69	66		61	58		54	51	48	45	42
腹結		天樞	梁門		育俞	陰都		下脘	上脘	中府	屋翳	步廊

新定孔穴人體側面圖解

腹 部	胸 部	頸 部	額 部	顛 部	顛 部	顛 部	顛 部	顛 部	顛 部	額 部
69	48	25	32	29	26	25	23	21	18	16
天 樞	中 府	天 鼎	大 迎	地 倉	迎 香	翳 風	上 關	卒 谷	頭 維	攢 竹
70			33	30	27		24	22	19	17
外 陵			頰 膠	下 關	四 白		聽 會	竅 陰	曲 鬢	陽 白
71				31	28					
水 道				頰 車	巨 膠					

新定孔穴人體側面圖解

側腹部

上肢部

下肢部

- 72 腹哀
- 73 大橫
- 74 腹結
- 76 脇髎
- 103 曲池
- 104 三里
- 105 肩髃
- 108 合谷
- 112 承扶
- 113 中瀆
- 114 陽陵泉
- 115 三里
- 116 陰陵泉
- 117 飛陽
- 118 三陰交
- 119 懸鐘
- 120 水泉

新定孔穴人體背面圖解

頭部正中線

頭部第一側線

頭部第二側線

背部正中線

背部側線

- 3 百會
- 4 後頂
- 5 腦戶
- 6 痙門
- 9 通天
- 10 天柱
- 14 腦空
- 15 風池
- 13 承靈
- 22 竅陰
- 78 大椎
- 79 身柱
- 80 命門
- 81 長強
- 82 大杼
- 83 肺俞
- 84 心俞
- 85 膈俞
- 86 肝俞
- 87 胃俞
- 88 腎俞
- 89 大腸俞
- 90 白環俞
- 91 上髎
- 92 中髎
- 93 次髎

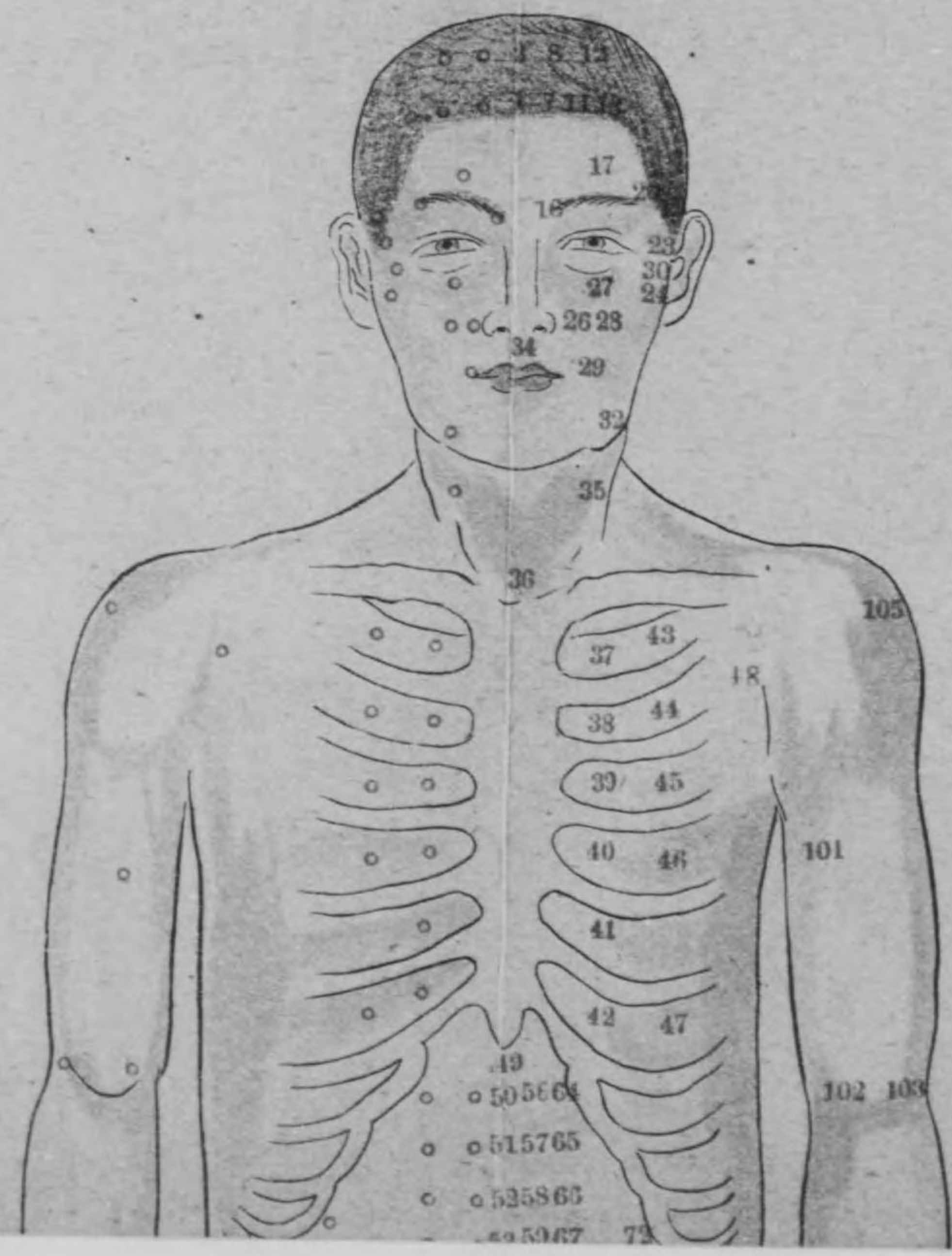
上肢部
肩胛部

下肢部

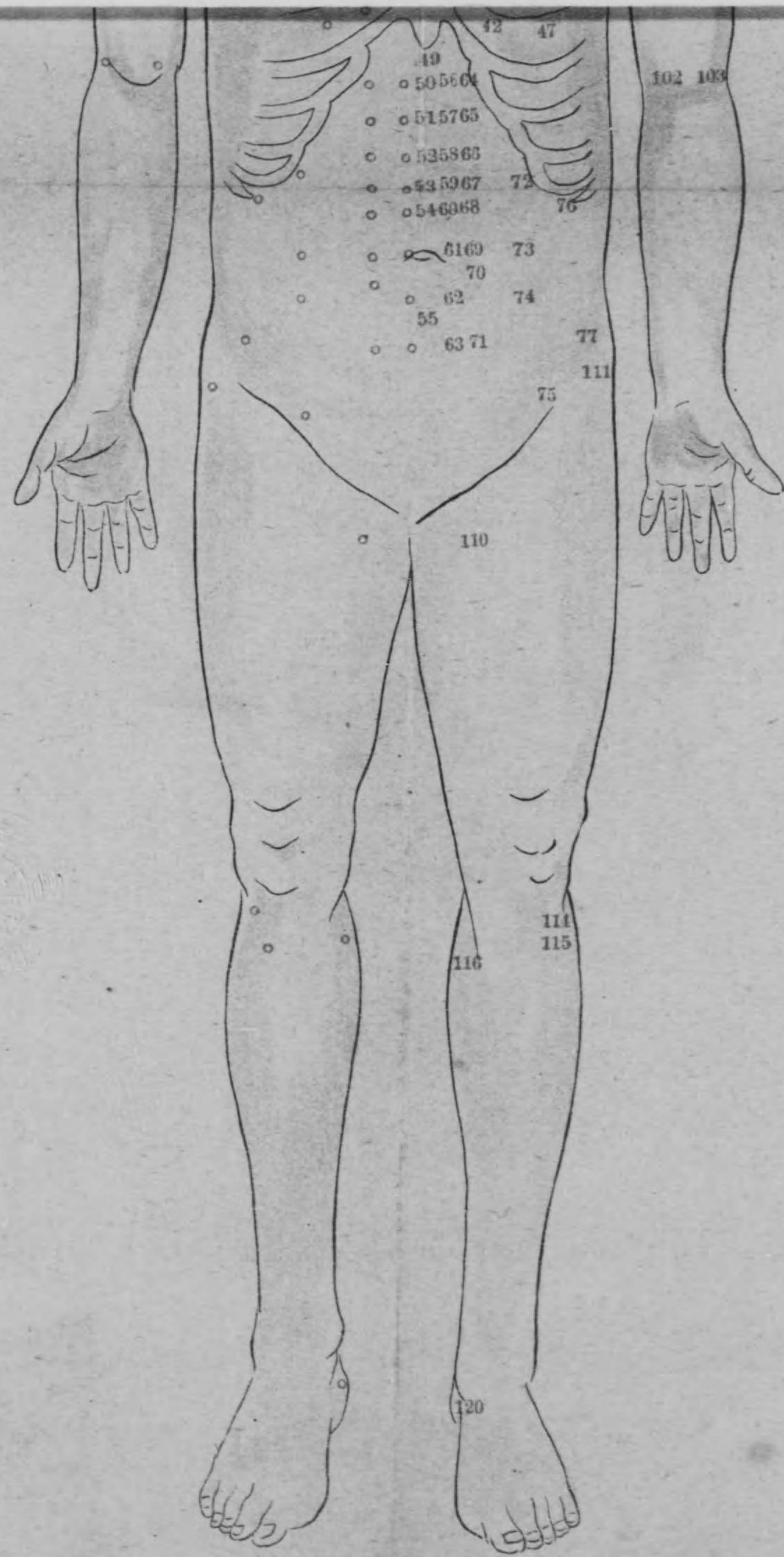
118	112	108	105	100	97	95	94
三陰交	承扶	合谷	肩髃	天髃	消灤	曲垣	下髃

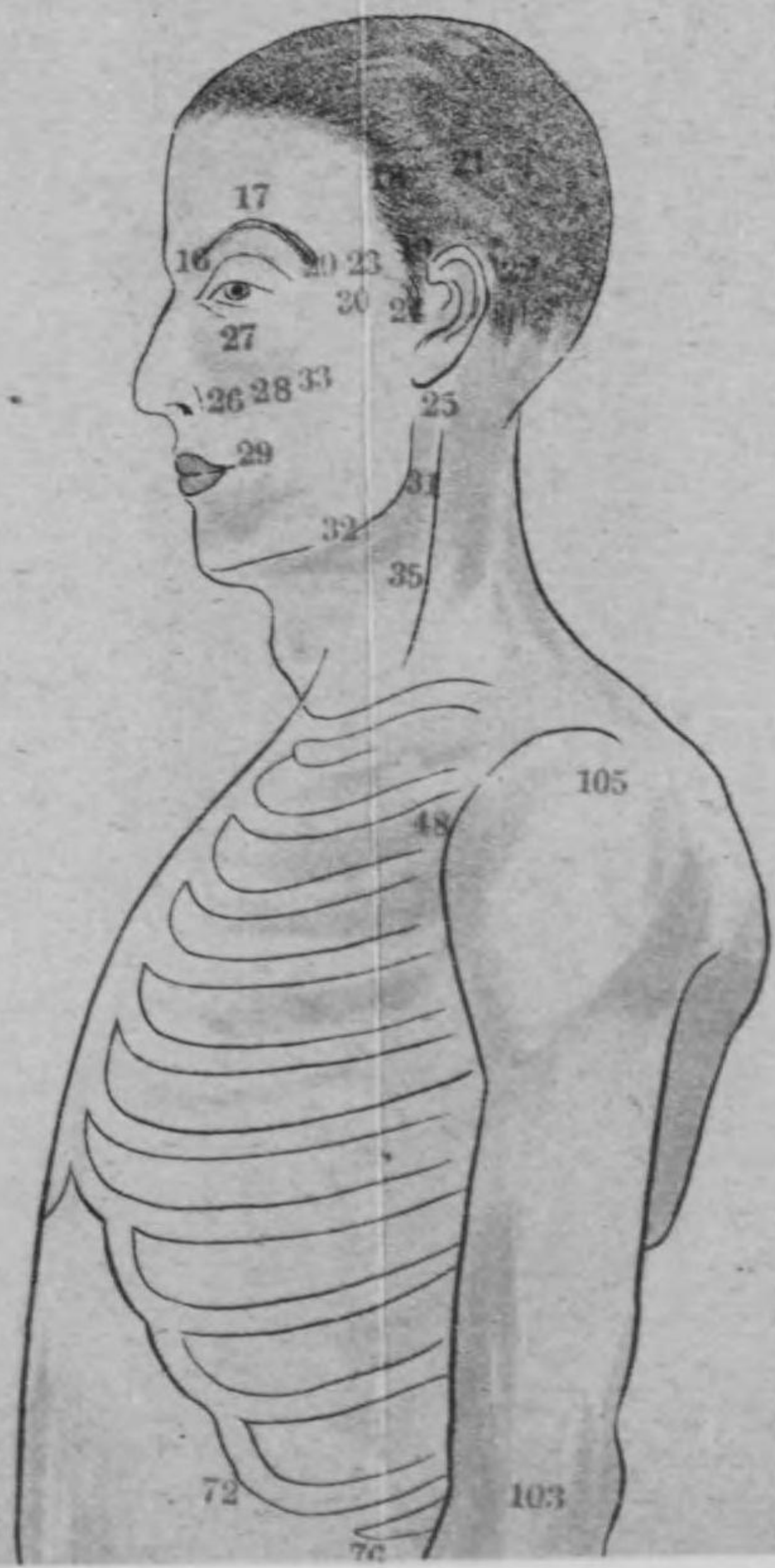
119	113	109	106	103	98	96
懸鐘	中瀆	陽池	肩貞	曲池	清冷淵	肩外

120	117	107	104	99
水泉	飛陽	支溝	三里	四瀆

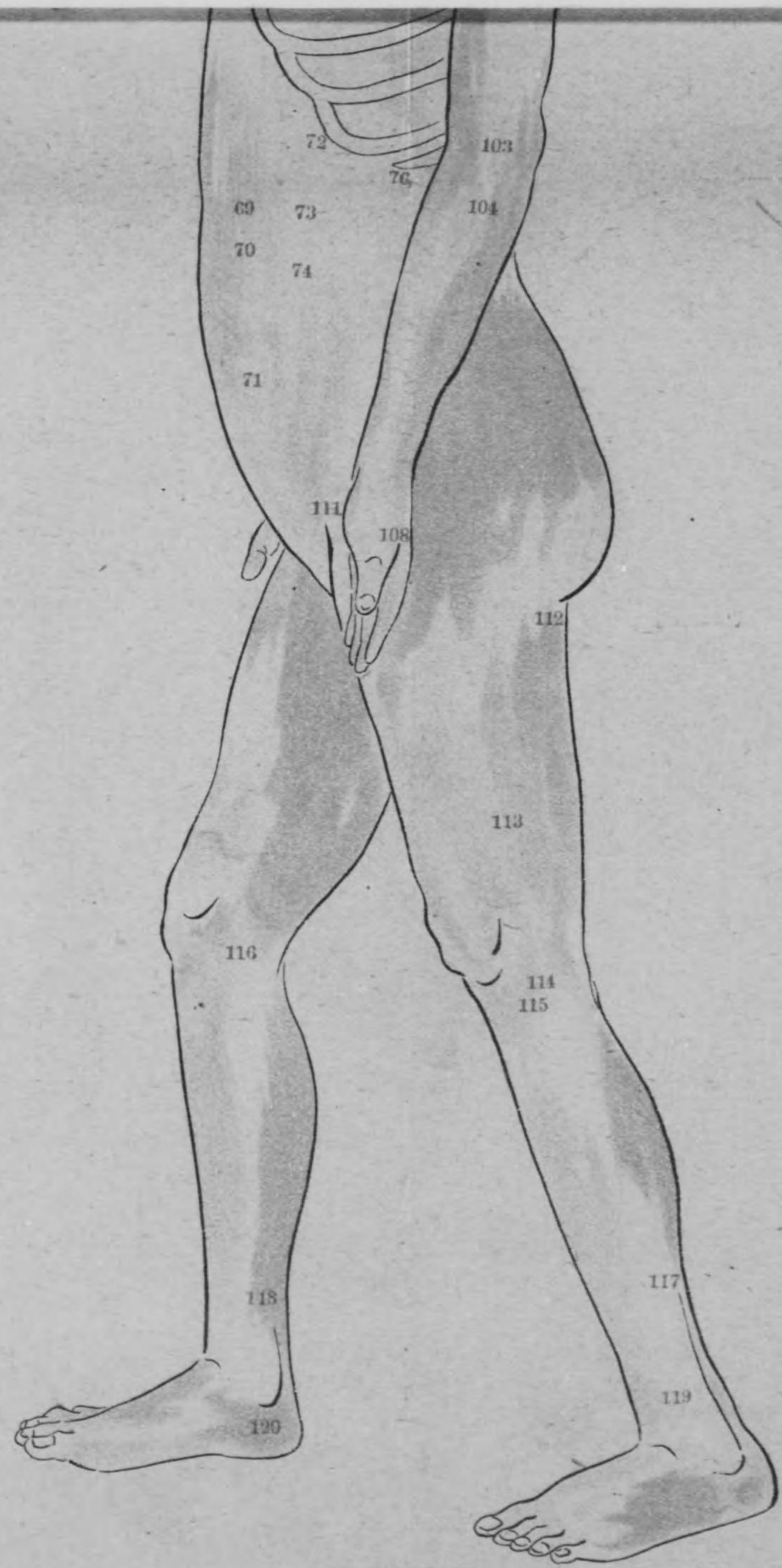


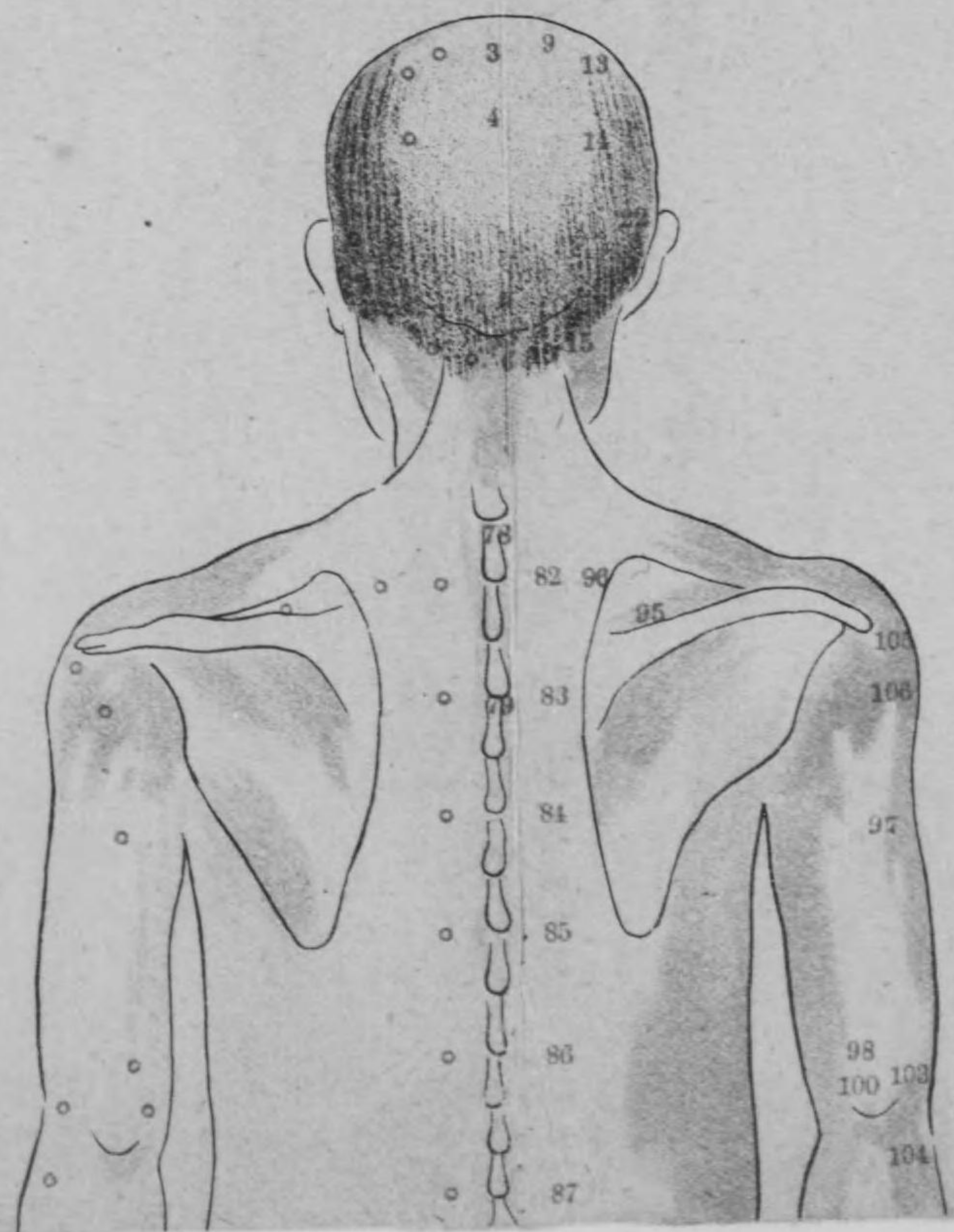
新定孔穴
前人體圖



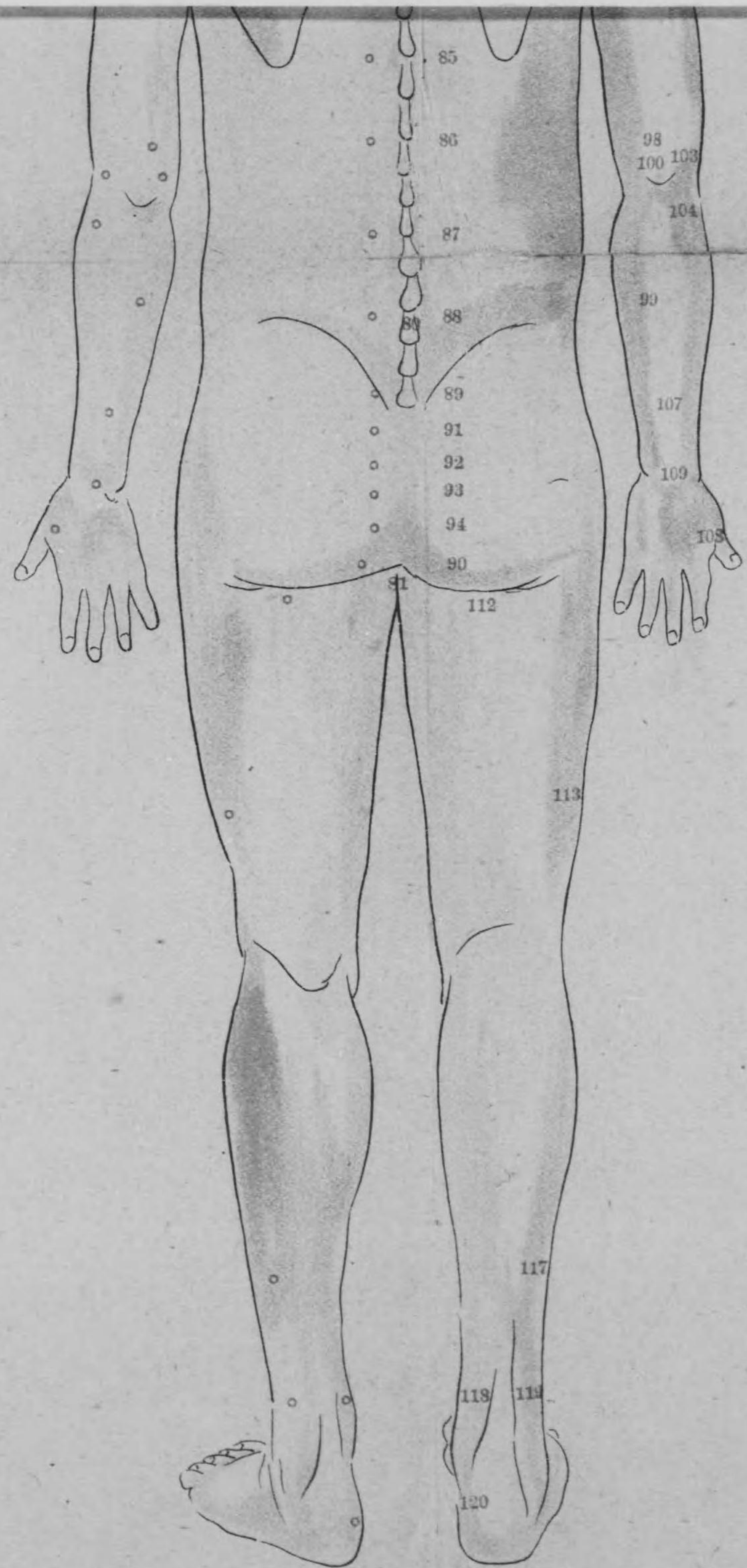


新定孔穴
側人體
面體圖





新定孔穴
背人體面圖



大正八年五月二十九日印刷
大正八年六月三日發行

不許
複製

發行所

正價 金貳圓四拾錢

著作者

東京市日本橋區長谷川町二十一番地
吉田弘道

發行者

東京市京橋區築地三丁目十六番地
盲人技術學校

右代表者

東京市小石川區小日向水道端三丁目五十四番地
鶴高隆憲

印刷者

東京市神田區美土代町二丁目一番地
島連太郎

印刷所

東京市神田區美土代町二丁目一番地
三秀舍

東京市京橋區築地三丁目十六番地

私立盲人技術學校

60
818

終

